



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年11月5日

上場会社名 株式会社ソルクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 4284 URL https://www.solxyz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 金成 宏季 TEL 03-6722-5011
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	10,307	8.2	878	66.9	894	56.7	922	155.6
2020年12月期第3四半期	9,524	△1.7	526	10.0	570	15.5	360	33.3

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 785百万円 (29.2%) 2020年12月期第3四半期 607百万円 (353.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	38.02	37.90
2020年12月期第3四半期	15.08	14.90

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	11,655	7,424	57.5	275.50
2020年12月期	11,402	6,815	53.5	253.57

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 6,698百万円 2020年12月期 6,105百万円

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2021年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 8円50銭 記念配当 1円50銭

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	8.4	1,000	17.9	1,100	10.1	1,070	80.4	44.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	26,820,594株	2020年12月期	26,820,594株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	2,505,372株	2020年12月期	2,742,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	24,254,764株	2020年12月期3Q	23,923,208株

（注）1. 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 期末自己株式数は、株式給付信託（J-ESOP）制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社株式158,200株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、持ち直しの動きも見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況が続きました。国内IT投資については、デジタルトランスフォーメーション投資を中心に堅調に推移しました。

このような中、当社は営業体制の強化を図り、ソフトウェア開発事業においてデジタルトランスフォーメーション需要などを中心に、長期・優良な案件の確保・遂行に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比8.2%増の10,307百万円となりました。

セグメント事業別では、次の通りです。

- ① ソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、クレジット等の金融向け及び通信業向けのS I / 受託開発業務が増収となり、同10.9%増の7,850百万円となりました。
- ② コンサルティング事業の外部顧客への売上高は、連結子会社におけるエッジコンピューティング系（組込系）システムで増収となりましたが、業務系システムでは減収となり、同1.0%減の856百万円となりました。
- ③ ソリューション事業の外部顧客への売上高は、連結子会社におけるクラウドサービス業務、自動車教習所向けソリューション業務、エッジコンピューティング系（組込系）開発業務のいずれも増収となり、同1.3%増の1,600百万円となりました。

損益面では、金融向け、通信業向けソフトウェア開発等の増益により、売上総利益は同19.4%増の2,579百万円となりました。この結果、販売費及び一般管理費は営業体制の強化等により同4.1%増の1,700百万円に増加したものの、営業利益は同66.9%増の878百万円となり、経常利益は同56.7%増の894百万円となりました。更に、2月の株式会社インターディメンションズの株式譲渡に伴う特別利益82百万円の計上、過去の株式評価損の認容等があり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同155.6%増の922百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は3,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に、非上場の種類株式の償還及び上場株式の時価評価額の減少により、投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は11,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ529百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は1,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ609百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.5%（前連結会計年度末は53.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,701,592	5,343,768
受取手形及び売掛金	2,164,638	1,886,474
商品及び製品	90,907	63,017
仕掛品	142,931	106,539
原材料及び貯蔵品	2,777	992
その他	121,597	272,569
貸倒引当金	△39	—
流動資産合計	7,224,405	7,673,362
固定資産		
有形固定資産	642,235	615,368
無形固定資産		
のれん	14,250	2,500
その他	908,256	1,026,262
無形固定資産合計	922,506	1,028,762
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647,956	1,211,362
繰延税金資産	436,682	663,271
その他	528,267	463,548
貸倒引当金	△16	—
投資その他の資産合計	2,612,890	2,338,181
固定資産合計	4,177,632	3,982,312
資産合計	11,402,038	11,655,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,278	429,289
短期借入金	860,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	359,584	473,620
未払法人税等	303,082	134,311
賞与引当金	—	272,455
その他	815,631	583,032
流動負債合計	2,852,576	2,322,708
固定負債		
長期借入金	755,206	895,600
株式給付引当金	8,119	15,277
退職給付に係る負債	750,949	763,682
役員退職慰労引当金	197,573	214,022
その他	21,905	19,424
固定負債合計	1,733,753	1,908,007
負債合計	4,586,330	4,230,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	2,277,286	2,255,173
利益剰余金	2,538,758	3,254,897
自己株式	△793,936	△725,338
株主資本合計	5,516,608	6,279,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547,247	377,214
退職給付に係る調整累計額	41,636	42,464
その他の包括利益累計額合計	588,884	419,679
新株予約権	1,815	273
非支配株主持分	708,398	725,774
純資産合計	6,815,707	7,424,959
負債純資産合計	11,402,038	11,655,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	9,524,159	10,307,483
売上原価	7,363,522	7,727,887
売上総利益	2,160,636	2,579,596
販売費及び一般管理費		
役員報酬	334,329	335,064
給料	485,054	528,618
賞与	48,725	56,714
賞与引当金繰入額	38,588	41,436
役員退職慰労引当金繰入額	18,079	18,895
退職給付費用	22,538	22,214
法定福利費	109,766	121,317
地代家賃	47,434	45,222
支払手数料	111,234	122,342
のれん償却額	33,994	11,750
その他	384,201	397,146
販売費及び一般管理費合計	1,633,947	1,700,724
営業利益	526,689	878,872
営業外収益		
受取利息	730	4,684
受取配当金	17,080	9,645
デリバティブ評価益	10,915	285
投資事業組合運用益	7,384	—
補助金収入	9,662	16,972
その他	9,126	8,036
営業外収益合計	54,899	39,624
営業外費用		
支払利息	10,707	11,281
投資事業組合運用損	—	8,685
その他	262	4,502
営業外費用合計	10,970	24,469
経常利益	570,618	894,027
特別利益		
投資有価証券売却益	11,061	—
関係会社株式売却益	—	82,484
特別利益合計	11,061	82,484
特別損失		
固定資産除却損	3	17
投資有価証券評価損	964	381
特別損失合計	967	398
税金等調整前四半期純利益	580,712	976,113
法人税、住民税及び事業税	241,326	173,349
法人税等調整額	△40,127	△151,912
法人税等合計	201,198	21,436
四半期純利益	379,514	954,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,689	32,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,824	922,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	379,514	954,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227,787	△170,032
退職給付に係る調整額	496	827
その他の包括利益合計	228,284	△169,205
四半期包括利益	607,798	785,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,108	752,959
非支配株主に係る四半期包括利益	18,689	32,512

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結範囲の変更を伴う子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社株式会社インターディメンションズの株式を全て売却したことにより、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、2020年12月期決算短信の(追加情報)に記載した内容から変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,079,060	864,934	1,580,164	9,524,159	—	9,524,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,586	27,499	159,894	217,980	△217,980	—
計	7,109,646	892,433	1,740,059	9,742,139	△217,980	9,524,159
セグメント利益又は 損失(△)	280,837	72,134	△44,019	308,953	217,735	526,689

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去217,980千円、のれんの償却費△244千円
であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,850,104	856,540	1,600,837	10,307,483	—	10,307,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,610	25,444	119,644	171,699	△171,699	—
計	7,876,715	881,985	1,720,482	10,479,182	△171,699	10,307,483
セグメント利益又は 損失(△)	635,460	88,956	△17,244	707,172	171,699	878,872

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去171,699千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、当社グループの方針である、『デジタルトランスメーションに向けた国内IT需要に対応し、「FinTech」、「CASE」、「IoT」、「Cloud Computing」、「AI」等新しい分野に取り組む』を一層推進するため事業ポートフォリオの見直しを行った結果、報告セグメントを従来の「ソフトウェア開発事業」及び「デジタルサイネージ事業」の2区分から、「ソフトウェア開発事業」、「コンサルティング事業」及び「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。